

## Jリーグクラブ・川崎フロンターレとJICAの連携による、 スポーツを通じた社会課題解決パイロット事業を実施しました

JICA は、有志職員の発案による新規事業の実施を後押しし、イノベーティブな国際協力の実践を促進しています。同枠組みのもと、JICA は、Jリーグ（公益社団法人日本プロサッカーリーグ）の協力のもと、SDGs 及び社会課題に挑むサッカースクール事業の海外展開の実現可能性を検討することを目的とした調査を実施しています。ベトナムでは、川崎市でサッカースクール事業を運営し、社会貢献活動を積極的に展開している川崎フロンターレと連携し、既に同クラブがサッカースクールを運営しているビンズン省での調査<sup>1</sup>を実施中です。

同調査の一環として、「日越外交関係樹立 50 周年記念ベガメックス・ビンズン FC VS 川崎フロンターレ特別親善試合」にて訪越中の川崎フロンターレと、パイロット事業として、ビンズン省の教育・健康改善を目指すプログラムを実施しました。



川崎フロンターレの選手と Ngo Thoi Nhiem 小学校の生徒の集合写真

### 【巻頭】

・Jリーグクラブ・川崎フロンターレと J I C A の連携による、  
スポーツを通じた社会課題解決パイロット事業を実施しました

### 【成長と競争力強化】

- ・中部高原地域の MOC に署名しました 3
- ・東南部地域の MOC に署名しました 4

### 目次

#### 【脆弱性への対応】

- 1 ・ HIV の治療に関するワークショップを開催しました 4

#### 【その他】

- ・ JOCV 活動報告会を行いました 5

1 調査「JICA・Jリーグ共同提案事業：SDGs 及び社会課題に挑むスクール事業の海外展開—ボールでつなぐ、人、まち、信頼—」を2022年6月～2024年3月の期間で実施中。Jクラブが、国内で実践してきたスクール事業を通じた社会貢献モデルを開発途上国においてパイロット事業として実践し、現地協力機関/企業、活動コンテンツ、参加住民からの信頼/理解等、本事業終了後にJクラブが自立的に社会貢献活動を継続、発展させるための活動基盤を確立することを調査の成果として想定。



生徒達のリフティングを見守る宮城選手



リフティングの平均の計算をし答えを発表する生徒

## 体を動かしながら学ぶ実践算数教室

11月18日、ビンズン省ゴー・テオイ・ニエム小学校にて、川崎フロンターレが JICA と連携して実践算数教室を実施しました。橘田健人選手、佐々木旭選手、遠野大弥選手、宮城天選手が参加し、小学4年生とリフティングの回数の平均で勝負しました。運動の機会が少ないベトナムの小学生が、プロサッカー選手とサッカーを通じて交流し、同時に楽しく算数を学びました。今後は、川崎フロンターレが日本国内で制作する算数ドリルのベトナムでの展開も計画しています。

## 健康増進プログラム体験会

11月20日、ビンズン省 Go Dau Stadium で開催された「日越外交関係樹立 50 周年記念ベガメックス・ビンズン FC VS 川崎フロンターレ特別親善試合」（JICA も後援）において、JICA は川崎フロンターレと連携し、試合前特設ブースにて健康増進プログラム体験会を行いました。



スラックラインを体験する来場者



ポールウォーキングを体験する来場

試合に訪れた方々に、スラックライン（2点間に張り渡した専用ロープ）を渡ってもらったり、専用ポールを使ったポールウォーキングを体験してもらい、ベトナムではまだ浸透していないツールを使った新しい健康増進の方法を広めるいい機会となりました。参加者からは、最初は難しかったが、安全かつ楽しくバランス感覚や正しい歩き方が身につくので、今後ベトナムでも広まってほしい等、好評でした。

JICA は、性別・年齢・その他バックグラウンドにかかわらず、全ての人にスポーツの価値を提供し、社会課題の解決に貢献します。



親善試合閉会式の様子



成長と競争力強化

## 中部高原地域の MOC に署名しました

11月20日、ラムドン省にて、ベトナム政府が会議を開催しファム・ミン・チン首相も出席、「2045年を見据えた2030年までの中部高原地域における社会経済開発・国家安全保障計画」（2022年10月制定）が公表されました。本会議では、上記開発計画に基づき、実施予定の事業に対して、

各ドナー（フィンランド大使館、ADB、IFAD、JICA、KEXIM）の代表が、支援実施にかかるノンコミットルベースの覚書に署名しました。JICAでは、同地域での協力候補としてラムドン省のインフラ整備事業に向けた円借款案件形成に向け検討を進めています。



署名式の様子



## 東南部地域の MOC に署名しました

11月26日、バリア・ブントウ省で、東南部地域の社会経済発展の促進、国防・安全保障の確保に関して、政治局の指示に従い、政府決議第24-NQ/TWによる計画実施を展開するための会議が開催され、ファン・ミン・チン首相も出席しました。JICAは、東南部地域の持続可能な発展においてベトナム国と共に協力することを示すため、

ファム・ミン・チン首相並びに中央機関及び同地域の関係省庁、地方自治体代表の立会いのもと、計画投資省との協力協定書を締結しました。JICAは今後も同地域のインフラ整備プロジェクトや技術協力プロジェクトの支援を継続検討・実施する予定です。



署名式の様子



## HIV の治療に関するワークショップを開催しました

10月27日、JICAが実施しているHIVの技術協力プロジェクト（SATREPS：地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）の一環として、日越両国の看護師、公衆衛生専門家が集まり、日本とベトナムでHIV感染者への治療、服薬指導をどのように行っているか、知見や経験をシェアする交流会を行いました。

異なる環境でも同じ課題に立ち向かう仲間同士として、双方の業務をビデオで紹介しつつ悩みを共有し、解決方法等につき意見交換が行われました。

午後は更に多くの医師が参加し、よりオフィシャルなセミナー形式で研修を実施しました。両国の専門家は、HIV 治療の大きな障害となり得る薬剤耐性ウイルスとは何なのか、どのように防ぐのか、HIV 感染者の服薬継続を促し、どう抗レトロウイルス療法（ART）を成功させるか等につき、議論を深め、学びました。



署名式の様子

JICA は、今後も同様の活動を通して両国関係者間のネットワークを強化し、HIV 治療の技術向上に取り組めます。JICA の活動詳細については以下リンクをご参照下さい。

日本語：

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/050/index.html>

ベトナム語

<https://www.jica.go.jp/.../vietnamese/vietnam/050/index.html>



署名式の様子



その他

## JOCV 活動報告会を行いました

11月1日、ベトナム各地で活動する JOCV（JICA 海外協力隊員）がハノイに集い、実施中の活動報告を行いました。現在、ベトナムで活動する隊員は、10月27日に到着した新隊員10名を加え、35名にもなり、日本語教育・幼児教育・青少年活動等の人材育成、農村辺境地域開発・観光開発等の地域発展、リハビリテーション・障害児（者）支援といった社会福祉、国営 TV の制作や文化遺産保全等、多岐に渡り活躍しています。

報告会では、活動成果や問題点/解決策に加え、地域の人々をはじめ、ベトナムの友人と現地の生活を楽しむ様子が共有され、「Toi Yeu Viet Nam !」と、皆一様にベトナムを賛美していました。今回の報告会で共有した知識や経験を元に、更にベトナムの人々との絆を強め、ベトナムに貢献する活動を続けていきます！



活動報告会に参加した協力隊員達

JICAベトナム事務所では、本月報を通じて皆様との情報共有を目指しています。ご意見、ご要望は、[vt\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:vt_oso_rep@jica.go.jp)までお送り下さい。

Website<https://www.jica.go.jp/vietnam/index.html> (日・越・英)

Facebook<https://www.facebook.com/jicavietnam> (越) 発行：JICAベトナム事務所広報班